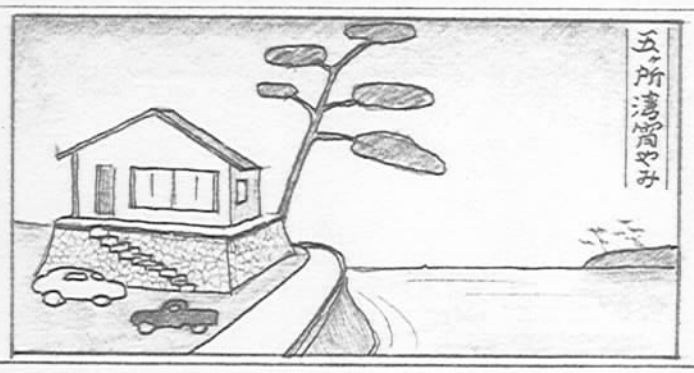
JRPみえばん
百万石
57
1980-9
伊勢市古市町
東 洋介
百万石編集部



例会の場所
愛之君の別荘？

五ヶ所の箱の例会 見聞記

百万石特派員

私としたことが2度も道をまちがえて、でも無事にあいし君の別荘に着いた。別荘といえば聞こえはいいが、まあ私設公民館というのが正解。6畳の部屋だが五ヶ所湾の夜風が流れこんで気持がいい。

机の上にはケーキがあって22本のローソクが立てられている。シャンパンがポンポンとぬかれる。いやあ、景気のいい例会だ。もしかして僕を歓迎のあまり…と思ったが、実は宇仁君の誕生日の由。おめでとう宇仁君。22才だって！。

ナッちゃんこと山本里美ちゃんは僕とこの娘と同年である。可愛いコちゃんも娘と同年輩ではどうもいかん。保育所で幼児組の先生をしていたが最近やめたそうである。

磯野君、この人は怪人20面相だ。会うたびに人相が変っている。この夜はとても忙しそうだったけれど、ニコニコ顔の日だった。この印刷屋さん仕事が多すぎて、まもなく誰かからスゴコイの電話がかかった。すぐ行くのだなと思ったが一向に腰を上げない。30分ほどたったら電話のぬしが迎えにやってきた。このへん、五ヶ所ふうなんだ、きっと。

われらの舌古君 盆おどりの写真を3枚持参していたが平凡な祭りモン。脱前の方は多少上昇を続けているのに写真の中味がうすい。

将棋の宇仁君 キャビネで20枚ほど並べた。私設公民館6畳の間では、キャビネは快適である。作品は見るべきものなし。しかし彼を見ていると、今にやるなあと思えてくる。将棋の強いのとなにかかんけいありそう。

河村さん、「ばばがんばる」を写している。新作をコンタクトで拝見したが、いいのが2点出た。家族写真というのは愛児記録や愛妻日記が多いのだが、彼のはおふくろ写真。よくありがちな淋しげな写真でなく堂々たる女丈夫が写っていて今後の楽しみ。

愛之くんがジャズの演奏者の写真を14枚ならべた。「このヒト沖縄の人で、無名の人ですが、バスの演奏が凄くよかった。沖縄のジャミセンのリズムでバスを弾くのです。とても多くの人が感動しました」と写真より話の方がずっとよかった。

例会のあとがよかった。特にあいし君の時事解説。金大中さんのその他いろいろ——がよかった。あの話は五ヶ所の若い人たちの脳に熱く沁みこんでいったにちがいない。

伊勢から約30キロですから皆さんもどうぞおあそびに
ことや

榊檀(せんだん)はふたばより口達者

〝おやじさん、相手が立場ないようになるようなこと言わんといて〟

ムスコが、また近所の年下の子どもを集めてがき大将している…とおやじさんの目にはそう見えた。

「コラッ オマエ、いつまで チビ大将してんのや」

これがいけなかった。

息子と比べて小さい子に見えたが、実は中学1年生の同級生たちだったのである。息子はすかさず

「おやじさん。言われた相手が立場ないようなこと言わんといて。」

なるほど、チビ大将していると言われたら、小さい友達は立場がない。友だちの立場思うと言われた本人も立場がない。おやじさん、大へん困った由。

これは宮間親子のある日の実話。

中学のハコも作ってくれや

高校の箱誕生を喜んで スミオさんの私信

高校生のハコうれしいですね。会費は百万石の購読料と通信費を貰えばいいでしょう。

それから僕としては(高校のハコは)組織は別にした方がいいと思います。そして運営は高校生で自主的にやってもらえば、もちろん例会などには自由に参加してもらって、支部会員と同じに取り扱ったらよいと思います。

JRPは誰でも入れて、いやになったら辞めてもらって結構なのですが『コウリョウ』というものがあって……(中略)……

みんなの意見もきいて高校生の方とも話しあって決めたらよいと思います。

静を動に表現するのにちょっと苦労しまして

バラさん遂にNHKテレビに

去る9月16日午後6時40分から始まるローカルニュースに、バラさんのあの顔が映った。NHKギャラリー(津)での個展〝塩を作る〟の作者として紹介されたのである。個展は20日までだった。

彼の対外活動に拍手しよう。

ふたりだけの世界がある

隆サンと僕

東 洋介

「もしもし、もうめし喰った？」

「ウン、もう喰った」

「そりゃ よかったなあ」

これは隆サンと僕とが交わす電話でのあいさつである。喰いしん坊同士は、このことばの交換でその時の気分がよう伝わる。

きょう ちょっと思いつくところあって清水さんに電話した。

「もしもし、あ、オクさん。いえ、いえ、かわってもらわなくていいです。(そうだ 五さんの方がいい)

アノウ えーと おたくの坊ちゃんのことですが、アノウ えーと

『きょうの昼のおかずはなんや』とか『晩めしの時、アレ食べたい』てなこと言いますか？」

「いえ、別にイ(ちょっとまをおいてから)私の作ったもの いつでも おとなしく食べていますわ」

……やっぱり そッかあ。

僕は今まで50年も気付かずいたのだ。誰でもみんな、昼にはなにを作ってもらうか奥さんに聞き、晩にはナニを食べたいと注文するものと思いこんでいたのである。

それはどうやら喰いしん坊の専売トッキョだったようである。

そういえば隆サンたら、「喫茶の店で夕方の忙しい時に、奥さんに電話して いたっけ。

「ウン、ウン、それで今晩のおかず なんや？」

「ナニ、ナニ、やき肉？ よしよし。にんにくな。」

隆さん またいっしょに喰おうね。

清水サンのこと

(後記)ウイスキーの話は連載予定でしたが、あまり受けないようなのでやめにしました。きょう安子さんがヒョッコリ現われ、下田辺にこもった篤ちゃんの行状をきいたので、記事にしたかったのですが余白がなくて残念々々。

この9月はヒマができたのでドッサリ百万石発行しました。多すぎてスミマセン。しかしボッボッ字す季節が近づいたので、いっぱい止まるかも。その節は勘忍を。